

(霧島市)

社会システムとしての顧客価値提供を「顧客の追求するビジョンの担い手としてDANTOTSU No1で選ばれる存在となる」ことで実現します。

「ありがたい姿」としては、『顧客の追求するビジョンを達成するためのパートナーとしてDANTOTSU No.1で選ばれる存在となること』としました。自主自律組織をOODA理論で強化し、DXの活用を含め当社の生業でもある高精度精密板金加工の価値を理解していただける顧客のビジョン実現に貢献することが、社会システムとしての価値提供に繋がります。また、メーカー思考をより具体的にするために自社ブランドの展開を目指します。



代表取締役社長 藤田 幸二

会社概要

2024年1月1日現在

■所在地	〒899-4317 鹿児島県霧島市 国分上野原テクノパーク12-18
■TEL	0995-46-6100
■FAX	0995-46-7364
■E-Mail	info@fujitaworks.com
■URL	http://fujitaworks.com

■代表者	代表取締役社長 藤田 幸二
■設立	1990年(平成2年)4月
■資本金	1,000万円
■従業員数	138人
■事業概要	高精度精密板金
■主要製品	半導体製造装置、航空機内装品、鉄道車両、苛性ソーダ生成電解槽の部品加工及び組立

水素エネルギーの次世代技術「多打点5層同時接合技術」

加工技術として開発した5層同時接合技術は、単打点5層同時から多打点5層同時接合へと進化しました。希少金属でもあるチタンとニッケルを接合するだけでなく、より生産性を向上させるために、複数の打点(サンプルは1工程で全て接合:5打点)を同時に接合することに成功しました。この技術は単なる工数の削減に留まらず、熱影響を1回で済むことから低歪接合と電気的性能の向上に寄与したものになっております。このことから次世代水素エネルギーの生成技術としても期待しているところです。



多打点5層同時接合技術

内装品、装飾品としての革命児“MetalFusion”

建築装飾品として、金属表面に処理を施した製品があります。メッキや印刷、ブラスト処理など様々な工法によって造り出される造形は装飾品としての価値も高まります。

当社では、金属に塑性を与えた加工にこだわり、デザイナーの求める造形を追求し実現させる技術と、平坦度の高い部材として“MetalFusion”を開発しました。

空間をアートに仕上げたいユーザーに向け、光と金属のcollaborateで新たな価値を創造するとともに、施工性の高い商品としてご提供いたします。



MetalFusion

OODAとDXによる多品種少量生産、不確実性生産への対応

昨今のものでづくり現場を悩ませてるのが、多品種少量生産に加え、不確実性のある受注です。どちらも負荷予測に影響する問題です。「計画を立てても計画通りに進まない」「見込み生産はリスクが高い」といった悩みが生じます。当社は、問題解決を独自の生産支援システムによって正しくリアルタイムに見える化し、変動要因に対応するための意思決定(OODA理論)を行っております。ここでは“臨機応変”がキーワードとなり、正しい情報と経験と柔軟性が機動性を生み出すDXとして、不確実性の中にあって、高い納期遵守率を誇っております(2022年度第1回DXセレクション認定)。



デジタルサイネージ